

聖霊降臨節第八主日礼拝

《主日朝礼拝式次第》

【入祭の部】

前 奏（黙祷）
「深き悩みより」（讃美歌 21 の 160 番）
S.シャイツ編曲

あいさつ
讃 美 讃美歌 21/51 番
開会の祈り
交 読 詩 篇 詩編 146 篇 1～6 節

【第一部 み言葉の礼拝】

聖 書
✦ガラテヤの信徒への手紙 3 章 21～29 節
✦マタイによる福音書 20 章 9～16 節
（新約 P.346、新約 P.38）
応 答 唱 讃美歌 21/46 番
教 話 井上隆晶牧師
『約束によって与えられる』

使徒信条

【第二部 聖餐礼拝】

奉 献 讃美歌 21/72 番
教会の祈り（連祷）
平和の挨拶
讃 栄 讃美歌 21/83 番
主のいのり
陪 餐

【応答と派遣と祝福】

讃 美 讃美歌 21/449 番
感謝の献物
栄光の讃美 讃美歌 21/24 番
派遣の言葉
祝福の祈り 井上隆晶牧師
後 奏（黙祷）
「ハレルヤ、主をほめたたえ」
（讃美歌 21 の 169 番）
H.ビーツ編曲

【本日の礼拝奉仕者】

司式補佐 勝見 仁
奏 楽 鹿野幸枝
献金当番 相澤美子
受付当番 小渕公子

【本日の予定】

◇教会学校（朝 9 時 30 分）
・お話し：澤田昌人
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）
◇教会学校教師会（礼拝後）
【今週の教会での集会のご案内】
◇朝の祈禱会
・7 月 14 日（火） 午前 9 時
・7 月 15 日（水） 午前 9 時
・7 月 17 日（金） 午前 9 時
◇英会話グループ
・お休みします。

【次週主日 7 月 19 日のご案内】

◇教会学校礼拝（午前 9 時 30 分）
・お話し：井上万里子
◇主日朝礼拝（午前 10 時 30 分）
・聖 書
✦イザヤ 57：15～19
✦マタイ 5：1～16
・教 話 井上隆晶牧師
『本当の幸いとは』
・讃美歌 21 50、46、132
・交読詩篇 詩編 147：10～18
・司式補佐 寺田律子
・奏 楽 飯田雅子
・献金当番 松本貴子
・受付当番 畑耕太郎
◇讃美歌練習（礼拝後）
◇合同祈禱会（礼拝後）

聖 句

「あなたはわたしと二デナリオンの約束をしたではないか。」

（マタイ 20 章 13 節）

【諸報告・個人消息】

①《今週の井上牧師の予定》：14 日（火）午後 1 時「施設連絡会」、16 日（木）午前 10 時「大宮保育園夕涼み会」
②《7 月の教会行事予定》
■7 月 12 日（日）礼拝後「教会学校教師会」
■7 月 21 日（火）午前 10 時「心の病の勉強会」
■7 月 26 日（日）井上牧師は泉北ニュータウン教会へ説教奉仕。都島教会の説教奉仕は戸根真理恵牧師。
③夏期特別献金を献げましょう。献金目標は 15 万円です。
④新しい 2026 年「教会奉仕一覧表」を作成しました。掲示板に貼っておきますので、各自で自分の奉仕をご確認ください。変更を希望される方は牧師までお知らせください。
⑤【先週の集会統計】

日	集 会	男 子	女 子	大 人	計	礼拝献金
5	CS 礼拝	—	1	8	9	¥2,450
	集 会	男	女	子 ども	計	礼拝献金
5	朝の礼拝	6	16	3	25	¥10,280
7	朝の祈り	1	1	—	2	
8	朝の祈り	4	2	—	6	
10	朝の祈り	3	2	—	5	

⑥【7/5 の献金報告】
〔月定〕井上隆晶、相澤美子、飯田雅子、井上万里子、井上朝子、井上聖一朗、屋宮英男、勝見仁、小渕公子、小渕賀裕、澤田昌人、澤田真弓、澤田望実、鹿野幸枝、寺田律子、畑季史子、畑真理奈、菱田朱美、三山幸子、山千代憲一、山千代誠子、澤田望実（計 151,700 円）〔感謝〕井上隆晶、畑季史子、匿名（計 15,000 円）〔建築〕井上隆晶、飯田雅子、井上万里子、澤田昌人、澤田真弓、寺田律子、畑季史子、畑真理奈、三山幸子（計 28,500 円）〔互助〕井上隆晶、屋宮英男、井上万里子、澤田昌人、澤田真弓、鹿野幸枝、寺田律子（計 12,000 円）〔ペンテコステ感謝〕屋宮英男、山千代憲一（計 62,000 円）〔夏期特別〕井上隆晶、相澤美子、飯田雅子（計 29,000 円）

【週報表紙の続き】

先週の木曜日のことです。朝の祈りが終わって家に帰る途中、横断歩道で立ち往生していたおばあさんに出会いました。あるご婦人がお助けして、横断歩道は渡り終えたのですが、そこから動けなくなったのです。そこで私がおんぶをして三人で支えておばあさんの家まで行く事になりました。ところがおばあさん、おんぶが怖くてのけ反り、「怖い、怖い」と言って爪が伸びた指で肩をつかむのです。お尻を突き出すので体重が後ろにかかり重いのです。家まで行くのに汗びっしょりになりました。以前、大阪 YWCA で水難救助の方法を聞きました。誰かが溺れている時、すぐに飛び込んで助けてはいけないというのです。すぐに飛び込むと、恐怖のあまり救助者にしがみついて、二人共溺れてしまうからです。しばらく様子を見て、溺れている人の力が弱くなったら助けるそうです。力が入っていると、助けたくても助けられないということなのです。力が入るとは信じていないことであり、力を抜くということが信じることなのです。このおばあさんの姿は実は、私かもしれないと思いました。禅に『柄のとれた壊れたひしゃくと、底の抜けた桶』という言葉があります。水がこぼれないひしゃくや、しっかりと底がある桶のような人間は、ろくな者がいないという意味です。この都島教会が貧しく信徒も二人だけだった時、私は「このままだったら教会は潰れるだろう。周りの人に気を遣い、自分を殺して生きたところで悔いが残るだけだ。どうせ潰れるなら、自分がやりたいことをやって潰してしまおう。」と思いました。私は底が抜けたのだと思います。人に良く思われたいという思いを捨てたのです。力が抜けて、自分のしたいことを伸び伸びと楽しんだのです。そうしたらキリストが背負ってくださったのです。いいんじゃないか、ないですか立派な人にならなくても。出来ることを一生懸命し、キリストを喜んで伝道しようと思います。